

磯子区の区民利用施設スタッフ向け

## 使ってみよう「やさしい日本語」

～だれにとってもやさしい施設をめざして～

### 報告書

磯子区内には、「いそご多文化共生ラウンジ」のほか、地域ケアプラザ、学習・文化施設、博物館など20以上の区民利用施設があります。

施設に来た外国人への対応が円滑になるように、また区民施設を訪ねた外国人住民のほか、障害者や高齢者など幅広い住民に対し利用方法や必要な情報を伝えることを想定し、長年「やさしい日本語」普及に携わってきた松本義弘さんを講師に迎え、「やさしい日本語」講座を実施しました。

講座では、「やさしい日本語」が生まれた背景や考え方・使い方のポイント・実際の「やさしい日本語」での伝え方についてのグループワークを行いました。講座の最後には、参加者同士の交流の時間を設けました。

講座終了後のアンケートには、「やさしい日本語への変換を通じて改めて言葉の表現や意味を考えるきっかけになりました」「やさしい日本語は、情報の受け手、つまり相手のことを考えること」「実際の場面を考えながら体験しながら学べたことで、次に活かせそうです」「相手に行動を起こしてもらうことが最終的な目標ということが印象に残った」などとありました。

今回の講座をきっかけに、区域の各関係機関の連携・区民利用施設間のネットワークが広がり、「だれにとってもやさしい施設」を目指す区民施設が増えていくことができればと思います。

磯子区の区民利用施設スタッフ向け

## 使ってみよう「やさしい日本語」

～だれにとってもやさしい施設をめざして～

みなさんの施設には、日本語を母語としない、外国の方たちの利用はありますか。  
日本語がわからない人に、どのように情報を伝えたりコミュニケーションをとればよいのか、悩んでいませんか。  
そんなときに役に立つのが、「やさしい日本語」です。  
「やさしい日本語」の考え方と使い方を学び、だれもが利用しやすい施設をめざしましょう。

テーマ

「やさしい日本語」

講師

松本義弘さん  
(一般社団法人国際多文化研修ラボ 代表理事)

日時

2024年2月21日(水) 14:00～16:30

場所

横浜市社会教育コーナー

対象

磯子区内の区民利用施設のスタッフ

参加者数

20名

主催

主催：磯子区役所地域振興課  
共催：公益財団法人横浜市国際交流協会

講座の様子



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！

磯子区の区民利用施設スタッフ向け

## 使ってみよう「やさしい日本語」

～だれにとってもやさしい施設をめざして～

実施報告

### 前半 講義

#### やさしい日本語・法的根拠について

##### 「伝える！伝わる！『やさしい日本語』」

講義では、「やさしい日本語」とはどんな日本語なのか、相手に伝わる「やさしい日本語」について、それが生まれた背景と対象者を確認しました。また、法的根拠になる地方自治法に触れながら、地域で「やさしい日本語」を推進する意義について話がありました。

講義を通して、ことばには機能があり、伝える伝わる役割を担っていること、よかろうと思って伝えた内容が、わかりにくい情報にならないよう、伝えるべき情報を取捨選択する必要性を改めて感じました。



### 後半 実技研修 「やさしい 日本語」 変換練習 交流会



#### 参加者のメッセージ (抜粋)

- ◆初めて知る現状、情報、業務中ではじっくり考える機会がなかったためとても勉強になりました。
- ◆短い時間でしたが、凝縮した内容でとても参考になりました。
- ◆気を抜けないスリルのある講義で珍しい！と思いました。楽しめたと、学生のときのような気持ちになれました！

#### 練習問題①

##### 個人ワーク (短文を「やさしい日本語」へ変換)

まず、個人ワークとして、変換練習をしました。

- ・設問を「やさしい日本語」に変換
- ・ワークシートの空欄埋め
- ・文章をすべてひらがな表記化

などを体験しました。

その後の発表では、一つの設問について二つ以上の回答が出ることもありました。「やさしい日本語」には正解がないことを実感しました。

#### 練習問題② グループワーク(チラシ作成)

チラシ「大人の社会科見学 地震・火災体験ツアー」を利用して「やさしい日本語」にしてみるグループワークを体験しました。

「QRコードで申し込めるのは良い」「区切りのついているところが良い」「文字・漢字が多くて見づらい」「集合場所が分かりづらい」など気づきを出し合った後、より分かりやすく、伝わるチラシにするためにはどのようにしたらいいかをグループ内で話し合いました。

インターネット上の日本語読解学習支援システムを使用しながら「やさしい日本語」を使った伝わりやすい文章によるチラシ作成に挑戦しました。

その後行った発表は、互いの学びとヒントを得る機会となりました。

#### 参加者同士の交流会

- ・いそご多文化共生ラウンジの活動紹介、区内施設でのやさしい日本語の取組紹介がありました。
- ・お茶を飲みながら参加者同士の近況、悩みについて話し合ったり、情報交換が行われました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！